

フルブライト留学生に対する当財団奨学金事業へのご支援のお願い

第8回記念募金

募金趣意書および募金要領

公益財団法人日米教育交流振興財団



公益財団法人日米教育交流振興財団  
(フルブライト記念財団)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 416 TEL:03-3503-1841 Fax:03-3503-0758  
E-mail:fulbrightfoundation@fulbright.or.jp http://www.fulbright.or.jp/

フルブライト留学生に対する当財団奨学金事業へのご支援のお願い  
第8回記念募金趣意書

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

留学生相互交流を中心としたフルブライト・プログラムは日米間においては1952年から始まり、2017年で65周年を迎えました。同プログラムは、J. ウィリアム・フルブライト上院議員の「国際教育交流こそ世界平和への貢献」との信念を継承し、日米両国政府が主体となって継続されて今日に至っております。

このたび日米教育交流振興財団(フルブライト記念財団)は、同プログラム発足65周年、並びに財団創立30周年(2016年)を記念して、当財団の奨学資金拡充のため第8回目の募金活動を実施することとなり、ぜひ皆さまのご支援をお願いいたしたく、本趣意書をお送り申し上げます。

現在までに、前身のガリオア・プログラムを含めフルブライト・プログラムで米国に留学した日本人は約8,700名、米国からの留学生は約2,800名、合計約11,500名に上り、この中からノーベル賞受賞者も6名輩出しています。近年問題視されている日本の若者の「内向き志向」、留学生の減少等に歯止めをかけるためにも、国際社会で活躍し、多様な分野で貢献をする国際人材を数多く輩出してきたフルブライト・プログラムの維持・拡大は重要です。

フルブライト留学制度は今日、基本的に日米両国政府資金で運営されていますが、当財団は日米のフルブライト留学生に対して追加的、補完的な奨学金を支給し、留学生がより充実した研究生活を送ることができるようにするとともに、フルブライト同窓生による公開セミナー等、日米間の人的交流の拡大や相互理解の増進のため、様々な活動に取り組んでいます。

当財団は、日本人フルブライト奨学金が結成した「ガリオア・フルブライト同窓会(現フルブライト日本同窓会)」が母体となり、恩返しの気持ちから1986年に設立されました。同窓生を中心とした募金活動は、世界160ヶ国以上で実施されているフルブライト交流計画の中でも日本が最初とされ、その長年にわたる活動は、日米両国政府関係者からも高く評価されております。2011年には公益財団法人に移行し、募金活動の拡充に取り組んでいます。

当財団がこれまでに奨学金支援を行ったフルブライト留学生は大学院留学生を中心に日米合わせて500名を超え、両国の教育・研究、経済・産業、ジャーナリズムなど各分野で活躍しています。現在は、日本人についてはフルブライト留学2年目以降の大学院留学生に対して当財団独自の奨学金を支給する一方、米国人については両国政府が組織する日米教育委員会(JUSEC)を通じてフルブライト留学2年目の所要資金を援助しています。

今回の募金活動では、企業・団体募金と個人募金を合計して、約80名の日米フルブライト留学生に上記奨学金支給を可能とする総額1億円の確保を目標としております。当財団が募金の事業主体となり、その活動をフルブライト日本同窓会に委託し、実施しております。2012-2014年に実施されたフルブライト・プログラム60周年記念企業・団体募金および個人募金では、総額1億3,119万円の募金実績をあげました。今回

は「フルブライト・プログラム65周年記念」並びに「財団創立30周年」という節目を迎え、幅広く募金活動を展開しようとするものであります。なお、公益財団法人の認定を受けた当財団への寄付金は、所得税、法人税上の寄付優遇措置を受けることができます。

以上の趣旨に、広く皆さまのご賛同をいただきたいと考えております。特に、財団奨学金事業の継続・充実のためには皆さまからのご支援が極めて重要であります。ぜひとも本記念募金にお力添えを賜りたく、切にお願い申し上げます。

2018年9月吉日

橋本 徹

橋本 徹  
発起人代表

みずほフィナンシャルグループ名誉顧問

文野 千年男

文野 千年男  
公益財団法人日米教育交流振興財団  
(フルブライト記念財団)理事長

飯野 正子

飯野 正子  
フルブライト日本同窓会 会長

今関 源規

今関 源規  
フルブライト 65 周年記念募金実行委員長  
フルブライト日本同窓会 副会長

橋本 徹	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問(発起人代表)
明石 康	国際文化会館 理事長
岩倉 正和	TMI総合法律事務所 弁護士 / 一橋大学大学院 教授
江端 貴子	ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループコーポレートガバナメントアフェアーズ&ホリジー統括責任者
岡田 直敏	(株)日本経済新聞社 代表取締役社長
押味 至一	鹿島建設(株) 代表取締役社長
小川 陽一郎	デロイトトーマツ 合同会社 CEO
賀来 景英	日米教育交流振興財団 理事
北 修爾	阪和興業(株) 取締役会長
行天 豊雄	国際通貨研究所 名誉顧問
久野 明子	一般社団日米協会 副会長
小島 秀樹	小島国際法律事務所 弁護士
笹沼 泰助	アドバンテッジパートナーズ 共同代表パートナー
千本 倅生	(株)レノバ 代表取締役会長
竹内 洋	東京大学政策ビジョンセンター客員教授
内藤 昭男	セイコーホールディングス(株) 取締役
中西 宏明	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長
長坂 健二郎	和洋学園 理事長
原田 敬美	元港区長
日比谷 潤子	国際基督教大学 学長
平野 信行	三菱金曜会 世話人代表
フェルトマン ロバート アラン	モルガン・スタンレーMUFJ証券(株) シニアアドバイザー
牧野 信夫	(株)マッキーマーコーポレーション 取締役CEO
箕浦 裕	メリルリンチ日本証券(株) 代表取締役 会長
茂木 友三郎	キッコーマン(株) 取締役名誉会長 取締役会議長
森田 敏夫	野村證券(株)代表執行役社長
吉川 精一	古賀総合法律事務所 弁護士
吉田 忠裕	YKK(株) 代表取締役会長
和田 昭穂	日米教育交流振興財団副理事長/元三菱電機クレジット(株)副社長

<各地区同窓会代表>

加賀谷 晴美	北海道ガリオア・フルブライト同窓会/札幌大学 学生支援オフィス
中田 俊彦	ガリオア・フルブライト東北同窓会会長/東北大学大学院工学研究科教授
塚田 守	名古屋フルブライト・アソシエーション/福山女学園大学教授
結城 正美	北陸フルブライト・アソシエーション会長
北村 和人	ガリオア・フルブライト京滋同窓会会長/医療コンサルタント
大津留智恵子	ガリオア・フルブライト大阪地区同窓会会長/関西大学教授
大津 章	ガリオア・フルブライト中国地区同窓会/広島修道大学国際センター
太田 英章	ガリオア・フルブライト四国同窓会会長/国際ロータリー・パストガバナー
高橋 勤	ガリオア・フルブライト九州同窓会会長/九州大学言語文化研究院教授
比嘉 幹郎	ガリオア・フルブライト沖縄同窓会会長/元沖縄県副知事

上記の方々に加え、新たな趣旨ご賛同者が発起人としてご参加されることもあります。

# フルブライト奨学金制度へのご支援のお願い

## 募金要領

### 1. 目標額: 1億円

### 2. 募金募集主体

公益財団法人日米教育交流振興財団

### 3. 募金の目的と寄付金の使途

日米教育委員会が実施している日米教育交流計画(フルブライト・プログラム)と協力し、日米相互理解推進に資するため「日米教育交流振興財団奨学金」として、日米のフルブライト奨学生を支援いたします。

### 4. 募集期間

2017年3月～2019年3月31日

### 5. 募金の方法

・企業・団体様……1口100万円

(5口以上のご寄付の場合は、企業名もしくは団体名を冠とした奨学基金を設置させていただきます。)

・個人様……1口1万円

(500万円以上のご寄付の場合は、寄付者名を冠とした奨学基金を設置させていただきます。)

※表記以外の金額のご寄付もありがたくお受けいたします。

### 6. 寄付金の払込方法

#### 1) 金融機関へのお振込みの場合

・4銀行の口座をご用意いたしております。恐れ入りますが、いずれの銀行でも、お振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

・企業・団体募金としてインターネットバンキングによるお振込の際は、EDI情報/明細欄に「募金」とご入力をお願いいたします。

#### ① 【みずほ銀行】

お振込先: みずほ銀行(0001) 麹町支店(021)

口座番号: 普通預金 1074957

口座名義: 公益財団法人日米教育交流振興財団

ザイ)ニチベイキョウイクコウリュウシンコウザイダン

(裏面に続く)

